

# 食物の嗜好傾向と性格に関する研究（Ⅲ）

猪 野 郁 子 ・ 藤 江 奏

Ikuko INO and Susumu FUJIE : Studies on the Relationship  
between One's Taste for Food and Personality (III)

## I 目 的

第1報<sup>(1)</sup>において食物嗜好と性格の関連を調べた結果、両者の間には密接な関係が存在することが認められた。しかし、食物の嗜好は人間の発育段階で変化することが当然予想されるので、今回は小学生を調査対象にえらび、中学生の場合との比較検討を行なった結果、若干の知見を得たので報告する。

## II 調 査 方 法

調査対象は、松江市における大規模校の一つであり、かつ職業、経済状態など平均的レベルを示すと考えられる松江市立雑賀小学校児童第3学年から第6学年までの男子346名、女子297名である（第1学年および第2学年は性格テスト実施困難のため調査対象より除外した）。

なお、回収率は94.7%であった。

嗜好調査は、調査対象が低年令層という点を考慮して、調査食品数を日常ありふれた61品目に限定して行なわれた。

また、第2報<sup>(2)</sup>において調理法による食物嗜好への影響は特に厳密に考える必要をみとめなかったもので、嗜好度の調査は第1報の方法に準じて行なわれた。

性格検査は、矢田部ギルフォード性格検査小学生用を用いた。

回収された資料は、学年別、男女別に集計され、t検定およびF検定を用いて統計処理が行なわれた。

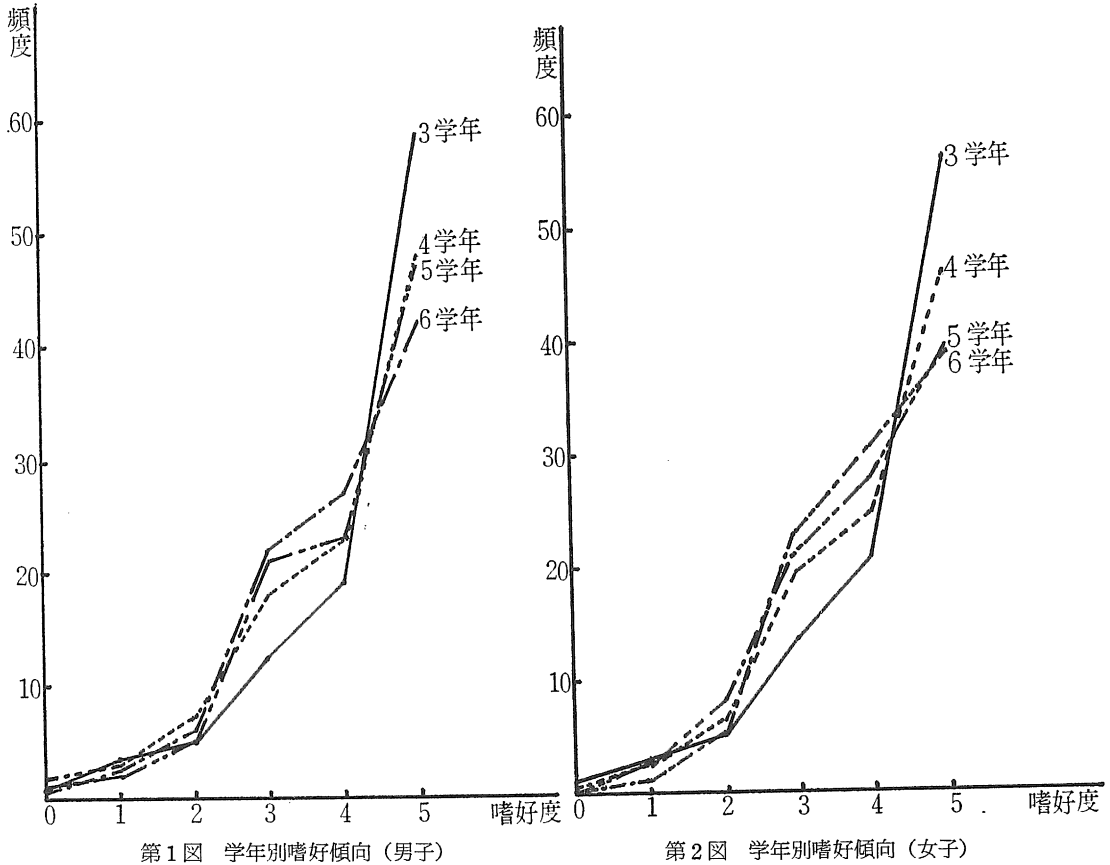
## III 結 果 お よ び 考 察

### 1 食品の嗜好傾向

男女それぞれの学年別嗜好傾向は、第1図第2図に示されるとおりである。

男女ともほぼ同じ傾向を示し、学年が上がるにつれて、嗜好度5を示す頻度が低下する傾向がみられた。この傾向は、中学生の場合とだいたい一致しており、小学6年生のグラフと中学

1年生のグラフに近似性がみられるところから、年令的に移行していく段階が明らかにみとめられた。



各学年の男女別平均嗜好度は第1表に示されるとおりである。

第1表においては、中学生にみられたような学年間に嗜好の有意差はみとめられなかったが、やはり、学年があがるにつれて、嗜好度が低下する傾向にあるように推察された。

第1表 学年別平均嗜好度

性別	学年	3	4	5	6	平均
男子		4.27 <sup>※</sup> ±1.08	4.07±1.11	4.08±1.04	4.00±1.05	4.10±1.07
女子		4.23±1.07	4.07±1.06	3.95±1.08	4.02±0.97	4.06±1.05

※印 標準偏差

このことから、小学生にかけて、年令による味覚の発達段階が推察され、低年令の者ほどおいしいと感ずる度合いが強いように思われる。

次に、各食品群の嗜好傾向を男女別に平均値の高い順から並べたものが第2表である。

第2表から明らかなように、男女とも、果物に最も高い嗜好度を示し、ついで嗜好品、うり類、海草類、甲殻類、乳類などが好まれているグループといえ、反対に、香辛料、根菜類、葉茎菜類、魚類などが好まれないグループであるといえる。

また、男子と女子で食品群の順序に若干のちがいがみとめられる。すなわち、肉類の嗜好順位のちがいが一番大きく、乳類、卵、軟体類など、動物性食品は男子に好まれているのに対し、うり類、葉茎菜類、なすその他など植物性食品は女子に好まれている傾向がみとめられた。

第2表 食品群別平均嗜好度

男		子			女		子		
食 品 群	平 均 嗜 好 度			食 品 群	平 均 嗜 好 度				
	最 高 値	最 低 値	平 均		最 高 値	最 低 値	平 均		
果 物	4.83	4.62	4.74	果 物	4.88	4.75	4.77		
◎嗜好品	4.57	4.42	4.47	◎うり類	4.51	4.35	4.41		
海草類	4.71	4.28	4.43	海草類	4.62	4.25	4.39		
◎乳類	4.51	4.21	4.32	甲殻類	4.41	4.15	4.27		
うり類	4.36	4.13	4.27	嗜好品	4.38	4.17	4.23		
甲殻類	4.44	4.08	4.23	乳類	4.36	4.14	4.23		
○卵	4.41	4.08	4.21	卵	4.29	3.94	4.09		
○穀類	4.26	3.96	4.06	穀類	4.25	3.88	4.00		
◎肉類	4.06	3.96	4.01	豆類	4.17	3.75	3.93		
いも類	4.16	3.83	4.01	いも類	4.15	3.73	3.92		
豆類	4.25	3.76	3.99	貝類	4.00	3.68	3.89		
○軟体類	4.10	3.84	3.98	軟体類	3.95	3.82	3.86		
貝類	4.18	3.80	3.94	◎なす その他	3.94	3.69	3.80		
魚類	4.09	3.63	3.79	魚類	3.81	3.65	3.75		
葉茎菜類	3.79	3.51	3.66	○葉茎菜類	3.82	3.64	3.74		
なす その他	3.74	3.42	3.58	肉類	4.15	3.46	3.71		
根菜類	3.46	3.13	3.33	根菜類	3.69	3.14	3.35		
◎香辛料	3.35	3.13	3.27	香辛料	3.12	2.75	2.88		

(平均嗜好度の最高値、最低値とは、17クラスの平均値のうち、最高、最低を示した値、平均とは、17クラスの平均値の平均、○印、◎印は、男女間に5%、1%の有意水準で差がみられたことを示す。)

これらの傾向は、中学生の場合にもみとめられており、全体的に好まれる食品は、年齢が上がってもあまり変わらず、男女別による好みのちがいはすでに小学生の段階に見出され、それが中学生段階においても保たれていると言えよう。

以下、各食品群について検討する。但し、平均嗜好度に明瞭な学年差がみられなかったことから、男女別にもみとめられなかったことのみ検討を行なう。

穀類, くり, 豆類, 肉類および卵についての嗜好傾向は第3表に示されるとおりである。なお, 各食品の順序は男女あわせた平均の高い順に並べられている。以下の表についても同様である。

穀類では, 男女ともスパゲッティを最も好んでおり, 以下, うどん, 米飯, マカロニ, パンの順であった。

中学生の調査では, パンはスパゲッティ, マカロニの次に好まれていたのに対し, 小学生の場合, 米飯より低い嗜好を示したことが注目される。このパンにおいて, 男女間に有意差がみられた。

種実類として, カロリーの高いくりを調べたところ, 中学生と同様, 男女とも高い嗜好度を示した。

豆類では, 落花生が高い嗜好度を示し, 中学生の場合と同じであったが, 今回は男女差がみとめられ男子の方により好まれていた。

肉類では, 中学生の場合と若干異なる傾向がみられた。すなわち, 中学生の場合, 男女とも牛肉, 豚肉, 鶏肉の順に好んでいたのに対し, 小学生の場合では, 鶏肉の嗜好度が豚肉より高く, 特に女子においては牛肉よりも高い嗜好度を示した点に著しいちがいがみられた。低年齢層では脂肪の少ない肉が好まれる傾向にあるようである。しかし, 牛肉と豚肉に男女差がみとめられ, 肉類は全般的に男子に好まれる傾向が強いのは中学生の場合と同じであった。

第3表 穀類, くり, 豆類, 肉類, 卵の嗜好傾向

食 品 名	男 子		女 子		男 女 差
	平 均	P	平 均	P	
ス パ ゲ ッ テ ィ	4.39±0.81	} 0.01	4.36±0.81	} 0.01	0.05
う ど ん	4.22±0.81		4.20±0.80		
米 飯	4.13±0.80	} 0.01	4.06±0.78	} 0.01	
マ カ ロ ニ	3.89±1.03		3.81±0.97		
パ ン	3.74±0.88	} 0.05	3.63±0.81	} 0.01	
く り	4.45±0.82		4.55±0.72		
落 花 生	4.43±0.74	} 0.01	4.32±0.79	} 0.01	0.05
え ん ど う	3.53±1.10		3.55±0.99		
牛 肉	4.22±1.06	} 0.01	3.88±1.16	} 0.05	} 0.01
鶏 肉	4.16±1.13		4.05±1.17		
豚 肉	3.66±1.38		3.20±1.38		
卵	4.21±0.85		4.09±0.86		0.05

卵はかなり高い嗜好度を示したが、中学生の場合と異なり、男女差がみられた。

第4表は、乳類、魚貝類、軟体類および甲殻類の嗜好度を示すものである。

乳類では、アイスクリームが最も好まれ、ヨーグルト以下の食品との間に有意差がみられたことは、中学生の場合と全く同じ結果であった。また、牛乳においても、男子の方が女子より高い嗜好度を示し、この間に有意差がみられたことは、中学生の場合とほぼ同じであったが、さらに、ヨーグルト、ヤクルトも男子に好まれる傾向が認められた。なお、バター の嗜好度が、牛乳やチーズよりも低い嗜好度を示したことは、中学生の場合と比べての顕著なちがいであった。肉の嗜好で低年齢層が脂肪の少ないものを好んでいることと関連性があるように思われる。

魚貝類では、低年齢層を対象としたため、細かい分類を行わず、単に魚、貝として調査を行なった。このいずれにおいても、男女差はみられなかったが、男女とも魚より貝の方に高い嗜好度を示した。これは、中学生の場合と一致した。

いか・たこでは、順位差、男女差はみられなかった。

かに・えびにおいても男女差はみられなかったが、どちらかという、えびよりかにを好む傾向がみられた。いずれにしても甲殻類は、魚貝類や軟体類より高い嗜好度を示した。

第4表 乳類、魚貝類、軟体類、甲殻類の嗜好傾向

食 品 名	男 子		女 子		男 女 差
	平 均	P	平 均	P	
アイスクリーム	4.84±0.47	} 0.01 } 0.01 } 0.01	4.84±0.44	} 0.01 } 0.01 } 0.01	0.01  0.05
ヨーグルト、ヤクルト	4.63±0.69		4.49±0.74		
牛 乳	4.30±0.85		4.14±0.93		
チ ー ズ	3.94±1.09		3.88±1.16		
バ タ ー	3.87±0.96		3.77±0.90		
貝	3.94±1.00	} 0.01	3.89±0.97	} 0.05	
さ かな	3.79±0.95		3.75±0.92		
い か	4.01±0.97		3.89±0.91		
た こ	3.96±1.05		3.82±0.99		
か に	4.28±1.03		4.38±0.87	} 0.01	
え び	4.18±1.01		4.17±0.90		

葉茎菜類、根菜類およびいも類の嗜好度は第5表に示されるとおりである。

葉茎菜類では、ほうれん草、キャベツ、たけのこは好まれる方であり、ねぎ、玉ねぎは好まれない方であるといえよう。

根菜においても、大根、ごぼうとにんじん、れんこんに分かれるようであるが、いずれにお

いても比較的低い嗜好度を示した。

いもでは、さつまいもの方が好まれていた。

これらの結果は、中学生の場合にみられた傾向とほとんど同じである。

明瞭に男女差のみられたのは、たけのことごぼうだけであったが、葉茎菜、根菜は全般的に女子に好まれる傾向のようであった。

果菜類、香辛料および嗜好品については、第6表に示されるとおりである。

うり類は全般的によく好まれている食品で、その中でも特にすいかは高い嗜好度を示した。

男女差は、すいかを除いたすべてのうり類にみとめられ、いずれも女子の方が高い嗜好度を示した。この傾向は、うり類以外の果菜についてもみられた。中学生の調査では、これほど明瞭な男女差はみられず、有意差のみとめられたのはきゅうりのみで、どちらかといえば女子の方に好まれる傾向があると推察されたにすぎなかったことから、果菜類に対する嗜好は年令が上がるにつれて性別による差異はうすれるようである。

香辛料は、わさびとしょうがのみについて調べたが、男女とも低い嗜好度を示し、男女差がみられた。香辛料においても、中学生の場合では男女差がみられられないことから判断して、果菜類と同様のことが推察される。

嗜好品は、中学生の場合、紅茶、コーヒー、コーラの間には嗜好の差はあまりみられず、女子では紅茶が抜きんでて好まれていたが、小学生の場合、男女ともコーラを最も好み、他のも

第5表 葉茎菜類、根菜類、いも類の嗜好傾向

食 品 名	男 子		女 子		男 女 差
	平 均	P	平 均	P	
ほうれんそう	4.00±1.03	} 0.01 } 0.01 } 0.05	4.06±0.96	} 0.01 } 0.01	0.05
キャベツ	3.95±0.97		4.04±0.94		
たけのこ	3.65±1.11		3.84±0.99		
たまねぎ	3.41±1.15		3.44±1.06		
ねぎ	3.26±1.16		3.31±1.06		
大 根	3.47±1.09	} 0.05 } 0.05	3.45±0.97	} 0.01 } 0.01	0.05
ご ぼ う	3.43±1.17		3.58±1.06		
に ん じ ん	3.30±1.17		3.24±1.12		
れ ん こ ん	3.09±1.24		3.10±1.10		
さ つ ま い も	4.20±0.94	} 0.01	4.08±0.92	} 0.01	
じ ゃ が い も	3.81±0.97		3.75±1.00		
こ ん に や く	3.51±1.11		3.52±1.15		

第6表 うり類, 香辛料, 嗜好品の嗜好傾向

食 品 名	男 子		女 子		男 女 差
	平 均	P	平 均	P	
す い か	4.86±0.46	} 0.01	4.86±0.55	} 0.01	0.01
メ ロ ン	4.51±0.97		4.72±0.68		
き ゅ う り	4.01±1.09		4.23±0.88		
か ぼ ち ゃ	3.71±1.12		3.84±0.98		
ト マ ト	4.17±1.11	} 0.01	4.42±0.93	} 0.01	0.01
な す	3.47±1.17		3.65±1.05		0.05
ピ ー マ ン	3.09±1.33		3.34±1.33		0.01
わ さ び	3.41±1.31	} 0.01	2.92±1.23		0.01
し ょ う が	3.13±1.31		2.85±1.26		0.01
コ ー ラ	4.73±0.64	} 0.01	4.39±0.88	} 0.05	0.01
紅 茶	4.50±0.75		4.27±0.88		0.01
コ ー ヒ ー	4.49±0.77		4.10±1.02		0.01
日 本 茶	4.18±0.92		4.18±0.91		0.05

のとの間に有意差がみとめられた。これは、低年令層においては紅茶、コーヒー等は日常生活でコーラよりなじみが少ないためと思われる。

また、中学生でコーヒーのみ男女差がみられたのに対し、小学生では日本茶を除いて男女差がみとめられたことから、嗜好品においても、年令が上がるにつれて性別による相異はうすれてくるものと思われる。

果物、海草および加工品についての嗜好度は第7表に示されるとおりである。

果物は、全般的に高い嗜好度を示し、男女とも平均嗜好度は1位を示し、低年令層では果物が最も好まれる食品であることがうかがえた。果物の中では、男女ともいちごを最も好んでいること、また、みかんに男女差がみられることなどは中学生の場合と全く同じ傾向であった。

海草では、のりとわかめのみについて調べたが、やはりのりの嗜好度が高くわかめとの間に有意差がみとめられ、この傾向は中学生になっても引きつづいているといえる。

加工品では、動物性のもののみを調べた。その結果、男女ともハム、ソーセージとかまぼこの間に嗜好の差がみられた。このことは、中学生の場合も同様であり、食生活の洋風化がこの傾向をもたらしているものと考えられる。また、男女差がはっきりとみとめられることから、肉類その他動物性食品に対する男女の性別による嗜好度の相異が、中学生と同様、明確に表われているものといえよう。

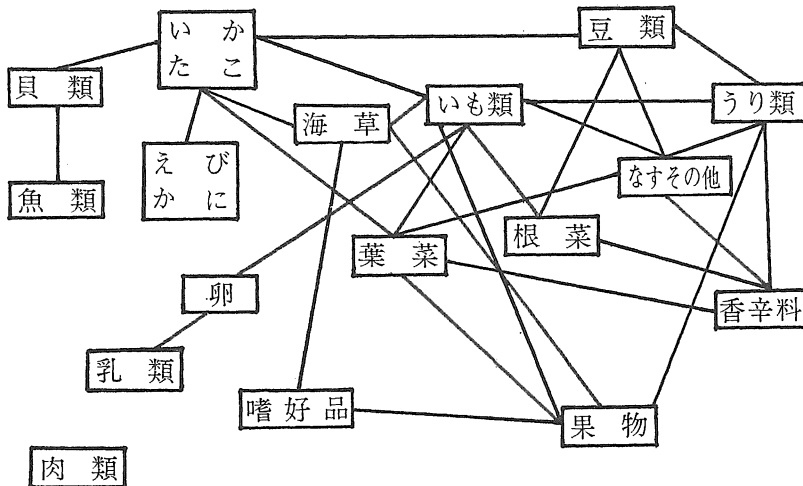
第7表 果物類, 海草, 加工品の嗜好傾向

食 品 名	男 子		女 子		男 女 差
	平 均	P	平 均	P	
い ち ご	4.87±0.43	0.05	4.88±0.37	0.05	0.01
な し	4.85±0.38		4.87±0.38		
ぶ ど う	4.84±0.50		4.86±0.46		
み か ん	4.74±0.56		4.84±0.41		
バ ナ ナ	4.72±0.65		4.65±0.73		
も も	4.69±0.66	4.77±0.59			
り ん ご	4.63±0.62	4.67±0.61			
か き	4.62±0.77	4.61±0.73			
の り	4.64±0.67	0.01	4.60±0.64	0.01	
わ か め	4.21±0.92		4.18±0.93		
ソ ー セ ー ジ	4.59±0.66	0.01	4.47±0.76	0.01	0.05
ハ ム	4.52±0.72		4.40±0.82		0.05
か ま ぼ こ	4.22±0.89		4.12±0.89		

## 2 食品の相互関係

食品群間の嗜好の相関の有無については、前回同様の<sup>(1)</sup>方法で算出し、17クラス中10以上のクラスに5%の有意水準で差がみとめられる場合を相関があるとみなした。このようにしてもとめられたものを図式したものが第3図および第4図である。

これら2図から明らかなように、動物性食品間、植物性食品間に必ずしも相関がみられる

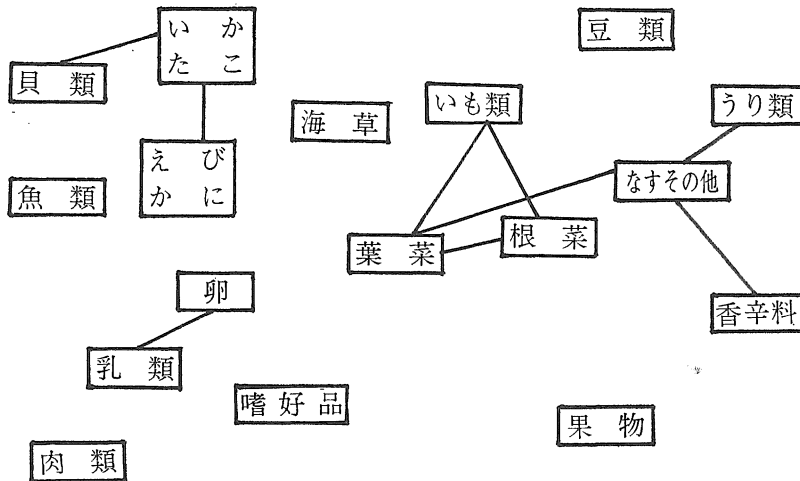


第3図 男子における食品嗜好度の相互関係



とはいえ、特に肉類は他のいずれの食品とも相関がなく、それより、比較的類似した食品間に相関がみられた。女子では、限定された食品間に相関がみられたが、比較的食品の好みが独立しているといえよう。

このように男女差により食品嗜好度の相互関係が異なる傾向は、中学生の場合と全く同じであった。性別によるこの相異は、低年齢層よりすでに認められて中学生にまでおよんでおり、これが、さらに高年齢層にまでおよぶかどうかについては今後の検討課題である。



第4図 女子における食品嗜好度の相互関係

### 3 性格との関連性について

性格検査は、前述のとおり矢田部・ギルフォード性格検査法を用いた。

食物嗜好と性格との関連をみるために、中学生の場合と同じ方法で、嗜好の上位群、下位群を抽出し、各性格特性についてこの二群間の  $t$  検定をおこなった。各食品群別上下二群の性格特性の得点をまとめたものが第8表および第9表である。また、 $t$  検定で有意差のみられる性格特性をまとめたものが第10表および第11表である。

第8表および第9表から明らかなように、ほとんどの食品群において、上位群は下位群より情緒不安定因子 (D, C, I, N), 社会不適応因子 (O, Co) においては低い得点を示し、反対に、活動因子 (Ag, G), 非内省性因子 (R, T), 主動因子 (A, S) においては高い得点を示す傾向がみとめられた。

ただし、男子の肉類においては、上位群は下位群よりいずれの因子においてもわずかであるが高い得点を示したことが注目された。

次に、上下群間に有意差のみられる性格特性についてみると、第10表および第11表に示されるように、男子では、いずれの食品群においてもいずれかの性格特性に嗜好上下群間に有意差がみられた。

食品群の中で、性格特性12のうち半数以上の特性に有意差のみられたものは、男子において

は、豆類、乳類、貝類およびいも類であり、女子においては、えび・かに類、葉茎菜類、いも類および根菜類であった。貝類が男子の場合、7つの特性において有意差がみとめられたのに対し、女子では全く有意差がみとめられなかったのは特徴的であった。

このように、性格特性と深いかかわりを示す食品群に男女間で相違がみられるのは、性格による食物嗜好の相違と大いに関係しているのではないかと思われる。

また、性格特性の中で、特に関係の深い因子をみると、男子では情緒不安定因子の劣等感I、活動性衝動性因子の活動性Gおよび主導性因子である社会的外向Sであり、女子ではこれらの因子に加えて、主導性因子の支配性Aにも深い関係がみとめられた。男子の場合には、嗜好度の高いものは支配性が強いと言えそうである。また男子では情緒不安定因子の神経質Nで全く関係がみられなかったこと、および女子においては社会不適応因子ならびに活動性因子である攻撃性Agで関係がみられず、非内省性因子である思考的外向Tが男子に比べて浅い関係であったことが注目される。このようなことから小学生の場合においても食物嗜好と性格との関連において男女差がみとめられるといえよう。

さらに、多くの性格特性において、中学生の場合におけるよりはるかに明瞭に各食品群の上下二群間に有意差がみとめられたことは、嗜好の未発達段階における年代の方が性格との関連性がはっきりと示されることを意味しているようである。

## 要 約

中学生につづいて、小学生の食物嗜好の実態と性格との関連性を検討した。

その結果を要約すると次のようであった。

- (1) 小学生から中学生にかけて味覚の発達段階が推察された。
- (2) 小学生も中学生と同様に男女とも果物、嗜好品、うり類、甲殻類、乳類などを好み、反対に、香辛料、根菜類、葉茎菜類、魚類などは好まれなかった。
- (3) 中学生の場合と同じく、肉類、乳類、卵など動物性食品は男子に好まれており、うり類、葉茎菜類、なすその他などの植物性食品は女子に好まれていた。
- (4) 嗜好における食品相互の関係は、中学生の場合と同様に、比較的類似した食品間に相関がみられ、これらの関係は男子に比べて女子の場合はあまり明瞭でなかった。
- (5) 性格特性と関係の深い食品群は、男子では豆類、乳類、貝類およびいも類であり、女子では、えび、かに類、葉茎菜類、いも類および根菜類であった。
- (6) 嗜好上下二群間で最も多く有意差のみられた性格特性は、情緒不安定因子の劣等感I、活動性衝動性因子の活動性Gおよび主導性因子の社会的外向Sであった。女子では、これらに加えて主導性因子の支配性Aにおいてもみられた。
- (7) また、反対に全く関係のみられなかった性格特性は、男子では情緒不安定因子の神経質N、女子では社会不適応因子ならびに活動性因子であるAgであった。

第8表 平均嗜好度ならびに各食品群におけるY・G得点 (男子の場合)

		D	C	I	N	O	Co	Ag	R	G	T	A	S
平均		3.75	3.48	2.67	3.57	4.06	3.16	5.31	5.19	3.19	3.91	4.55	5.14
平均嗜好度	上位群	2.97	3.11	2.34	3.37	3.79	2.81	5.42	4.97	3.90	4.47	5.10	5.73
	下位群	3.88	3.82	3.12	3.70	4.38	3.40	5.30	5.40	2.48	3.38	4.06	4.48
肉類	上位群	4.06	3.37	2.66	3.86	4.10	3.38	5.56	5.20	3.26	4.09	4.64	5.56
	下位群	3.48	3.34	2.66	3.44	4.08	3.10	4.97	5.18	2.94	3.65	4.34	4.86
乳類	上位群	3.15	3.01	2.18	3.29	3.71	2.79	5.40	4.87	3.73	4.03	4.93	5.87
	下位群	4.23	3.83	3.01	3.84	4.38	3.42	5.45	5.31	2.87	3.94	4.25	4.90
卵	上位群	3.41	3.34	2.45	3.48	3.74	2.97	5.30	4.99	3.59	4.06	4.81	5.55
	下位群	3.87	3.42	2.76	3.37	4.37	3.13	5.38	5.25	3.21	3.66	4.49	4.76
魚類	上位群	3.19	3.13	2.44	3.47	3.80	3.07	5.23	4.95	3.71	4.17	4.80	5.54
	下位群	3.79	3.38	2.67	3.96	4.00	3.58	5.54	5.08	2.88	4.00	4.67	5.13
いか・たこ	上位群	3.74	3.36	2.63	3.65	4.09	3.22	5.43	5.17	3.52	4.38	4.64	5.53
	下位群	3.75	3.70	2.76	3.34	4.25	3.20	5.18	4.95	2.94	3.51	4.53	4.71
えび・かに	上位群	3.67	3.47	2.55	3.60	4.10	2.99	5.33	5.25	3.31	4.23	4.56	5.57
	下位群	3.99	3.59	2.66	3.54	4.15	3.32	5.46	5.20	3.17	3.60	4.48	4.75
貝類	上位群	3.50	3.50	2.52	3.74	4.01	2.93	5.53	5.18	3.51	4.30	4.79	5.74
	下位群	4.35	3.85	3.42	3.73	3.96	3.85	5.42	5.00	2.31	3.31	4.04	3.92
豆類	上位群	3.58	3.40	2.60	3.82	4.01	3.11	5.64	5.13	3.50	4.39	4.75	5.85
	下位群	4.05	3.94	3.17	3.58	4.25	3.69	5.17	5.09	2.86	3.42	4.17	4.69
葉茎菜類	上位群	3.78	3.33	2.67	3.79	3.89	3.08	5.65	4.95	3.46	4.68	4.54	5.89
	下位群	3.52	3.60	2.78	3.48	3.90	3.47	5.27	5.12	3.02	3.73	4.32	4.77
いも類	上位群	3.40	3.28	2.51	3.35	3.95	2.98	5.32	4.90	3.47	3.91	4.80	5.60
	下位群	4.00	3.54	3.21	3.74	4.24	3.62	5.31	5.50	2.70	3.61	4.20	4.67
根菜類	上位群	3.13	3.12	2.40	3.34	3.84	3.10	5.31	4.75	3.60	4.22	4.84	5.76
	下位群	3.60	3.56	2.82	3.54	4.20	3.15	5.16	5.28	3.02	3.78	4.52	4.81
うり類	上位群	2.95	3.04	2.29	3.46	3.71	2.88	5.29	5.07	3.37	3.76	4.72	5.68
	下位群	3.67	4.00	2.88	3.81	4.19	3.83	5.23	5.00	3.08	4.04	4.25	4.56
なすその他	上位群	3.42	3.27	2.61	3.67	3.90	3.19	5.48	5.04	3.48	4.37	4.70	5.69
	下位群	3.91	3.86	2.76	3.82	4.18	3.31	5.26	5.39	3.20	4.23	4.50	5.00
香辛料	上位群	3.45	3.35	2.59	3.42	3.91	3.21	5.46	5.14	3.33	4.21	4.58	5.75
	下位群	3.91	3.67	3.13	3.62	4.23	3.16	4.95	4.98	2.49	3.77	4.03	4.38
海草類	上位群	3.45	3.48	2.65	3.69	4.05	3.17	5.42	5.09	3.33	4.22	4.79	5.34
	下位群	3.50	3.53	1.83	3.13	3.57	3.27	5.47	5.17	2.93	3.20	4.50	4.70

※ 印は上下間に有意差のみられたことを示す。

第9表 平均嗜好度ならびに各食品群におけるY・G得点 (女子の場合)

		D	C	I	N	O	Co	Ag	R	G	T	A	S
平均		3.56	3.30	3.22	3.18	3.72	2.61	5.11	4.82	3.41	3.59	4.38	5.24
平均嗜好度	上位群	2.87 <sup>※</sup>	2.84 <sup>※</sup>	2.61 <sup>※</sup>	2.77 <sup>※</sup>	3.28 <sup>※</sup>	2.26 <sup>※</sup>	5.15	4.46 <sup>※</sup>	3.59	3.44 <sup>※</sup>	4.79 <sup>※</sup>	5.49 <sup>※</sup>
	下位群	4.11	3.68	3.89	3.71	3.86	3.16	5.14	4.98	2.95	3.21	3.76	4.51
肉類	上位群	3.52	3.41	3.14	3.24	4.05	2.71	4.86	4.93	3.41	3.59	4.76 <sup>※</sup>	5.47 <sup>※</sup>
	下位群	3.77	3.79	3.51	3.32	3.72	2.63	5.14	4.81	3.21	3.49	3.88	4.75
乳類	上位群	3.29	3.16	2.79	3.09	3.66	2.76	5.28	4.74	3.83	3.47	4.95 <sup>※</sup>	5.67 <sup>※</sup>
	下位群	3.62	3.36	3.84	3.44	3.49	2.93	4.87	4.87	2.82	2.91	3.82	4.64
卵	上位群	3.45	3.23	3.04	3.22	3.56	2.53	4.95	4.79	3.70	3.69	4.47 <sup>※</sup>	5.30 <sup>※</sup>
	下位群	3.87	3.49	3.52	3.32	3.95	2.71	5.27	4.88	3.20	3.52	4.09	4.68
魚類	上位群	3.38	3.25	3.22	3.17	3.70	2.34	4.97	4.64	3.67	3.67	4.64 <sup>※</sup>	5.39 <sup>※</sup>
	下位群	3.84	3.43	3.43	3.33	3.95	2.83	5.12	4.88	3.10	3.61	4.11	4.85
いか・たこ	上位群	3.50	3.35	3.00	3.24	3.76	2.82	5.33	4.95	3.55	3.68	4.29	5.35
	下位群	3.81	3.27	3.41	3.42	3.80	2.89	4.84	4.71	3.06	3.68	4.13	4.72
えび・かに	上位群	3.35 <sup>※</sup>	3.41	2.97	3.15	3.55	2.42	5.23	4.95	3.76	3.66	4.58 <sup>※</sup>	5.43 <sup>※</sup>
	下位群	4.42	3.76	4.09	3.64	4.39	3.15	5.15	4.94	3.06	3.55	3.67	4.55
貝類	上位群	3.21	3.14	2.76	2.91	3.69	2.54	5.19	4.79	3.73	3.74	4.64	5.35
	下位群	4.05	3.48	3.33	2.86	3.43	2.95	5.05	4.33	3.48	3.05	4.86	5.05
豆類	上位群	3.29	2.96	2.73	3.00	3.47	2.25	5.39	4.71	3.80	3.51	4.75	5.24
	下位群	3.88	3.79	3.69	3.42	3.83	2.96	5.38	4.67	3.50	3.87	4.27	5.21
葉茎菜類	上位群	3.12 <sup>※</sup>	2.73	2.76	2.61	3.18	1.94	5.02	4.59	4.04	3.55	5.00 <sup>※</sup>	5.78 <sup>※</sup>
	下位群	3.86	3.70	3.57	3.59	4.13	3.11	5.23	4.64	3.13	3.36	3.80	4.59
いも類	上位群	3.13 <sup>※</sup>	3.00	2.87	2.90	3.28	2.21	5.22	4.48	3.61	3.45	4.76	5.46
	下位群	3.74	3.62	3.28	3.39	4.03	3.13	5.09	5.13	3.03	3.77	4.14	5.12
根菜類	上位群	2.92 <sup>※</sup>	2.88	2.70	2.64	3.52	2.44	4.92	4.60	4.08	3.28	5.06 <sup>※</sup>	5.64 <sup>※</sup>
	下位群	3.65	3.60	3.45	3.58	4.07	3.08	5.22	4.83	2.88	3.33	3.87	4.73
うり類	上位群	3.26	3.15	2.79	3.03	3.34	2.41	4.98	4.38	3.67	3.43	4.62	5.44
	下位群	3.40	3.42	3.49	3.56	3.65	2.91	4.88	4.98	2.44	2.84	3.91	4.79
なすその他	上位群	2.99 <sup>※</sup>	3.06	2.71	2.93	3.54	2.45	5.07	4.70	3.99	3.58	4.67 <sup>※</sup>	5.71 <sup>※</sup>
	下位群	3.64	3.52	3.41	3.28	3.97	2.70	4.86	4.97	2.89	3.28	4.00	4.84
香辛料	上位群	3.63	3.38	3.12	3.27	3.78	2.56	5.40	5.09	3.74	3.82	4.65	5.73
	下位群	3.47	3.30	3.26	3.28	3.69	2.64	5.00	4.73	3.45	3.79	4.22	4.85
海藻類	上位群	3.35	3.04	2.87	3.02	3.68	2.54	5.07	4.61	3.62	3.87	4.61	5.50
	下位群	3.53	3.28	3.13	2.91	3.53	2.81	4.77	4.55	2.96	3.34	4.19	5.15

※ 印は、上下間に有意差のみられたことを示す。

第10表 食品群と性格特性との関係 (男子の場合)

性格特性	平均嗜好度	豆類	肉類	乳類	卵	魚類	いか・たこ	えび・かに	貝類	葉茎菜類	いも類	根菜類	うり類	なすその他	香辛料	海藻類
D	○		○	◎					○		○		○			
C	○	○		◎									◎	○		
I	○	○		◎					○		◎		○		○	○
N				◎	◎											
O	○			◎									◎			
Co		○		○					○		○					
Ag		○	◎												○	
R		○		◎		○			◎		◎	○				
G	◎	○		◎			○		◎		◎	○			◎	
T	◎	◎		○			◎	○	○	◎						
A	◎	○		○					○		○			○		
S	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎		

第11表 食品群と性格特性との関係 (女子の場合)

性格特性	平均嗜好度	豆類	肉類	乳類	卵	魚類	いか・たこ	えび・かに	貝類	葉茎菜類	いも類	根菜類	うり類	なすその他	香辛料	海藻類
D	◎							◎		○	○	○		○		
C	◎	◎								◎	○	○		○		
I	◎	◎		◎	○			◎		◎		○	○	○		
N	◎									◎	◎	◎				
O	○							○		◎	◎	○				
Co	◎	○						○		◎	◎	○				
Ag											○					
R				◎		○		○		○		◎	◎	◎		○
G	○			◎									◎			○
T			◎	◎		○		◎		◎		◎	○	○		○
A	◎		◎	◎		○		◎		◎	○	◎	○	○		
S	◎		◎	◎	○	○	○	◎		◎		◎	○	◎	◎	

(8) 中学生の場合に比べて、男女とも多くの性格特性において嗜好との関連が強くとめられた。

以上であるが、今後これらの関係をより明らかにしていくために、調査年令層の拡大、家庭における養育態度や生活環境などの影響についてさらに検討していくつもりである。

最後に、この調査のために貴重な時間と労力を提供して下さい、種々のご便宜を計っていただきました松江市立雑賀小学校教官各位に深く謝意を表します。

この報告は、昭和47年度日本家政学会中四国支部総会において発表した。

#### 参 考 文 献

- (1) 中山郁子，藤江奏；島根大学教育学部紀要（人文・社会科学編）4，51（1970）
- (2) 中山郁子，藤江奏；島根大学教育学部紀要（人文・社会科学編）5，15（1971）